JAIST Repository
https://dspace.jaist.ac.jp/

Title	ソーシャル・イノベーション　成果報告 ：<イノベーション教育> イノベーションを担う人材の育成
Author(s)	
Citation	
Issue Date	2008-03-31
Type	Research Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5078
Rights	
Description	北陸先端科学技術大学院大学21世紀COEプログラム「知識科学に基づく科学技術の創造と実践－分野横断イノベーション研究教育拠点－」プロジェクト3-B

JAIST
JAPAN
ADVANCED INSTITUTE OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY

Japan Advanced Institute of Science and Technology

〈イノベーション教育〉イノベーションを担う人材の育成

ソーシャル・イノベーション

代表者：近藤 修司（知識科学研究科 教授）

《成果報告》　2008年3月31日 現在

民間企業・地域社会のイノベーション創出と、それを担う人材育成に向けて次の取り組みを実施した。

JAISTフォーラム2006 －知識創造と社会革新－「 北陸！地域再生シンポジウム」

2006年11月13日(月)　ホテル日航金沢(金沢市)　受講者：235名

■プログラム■

【午前の部「企業と社会のイノベーション」】

基調講演

「『改革の輪』と『見える化』で元気にする。」―人間力と技術力を向上し、MOT改革実践で未来を創り出す―

近藤　修司（本学 知識科学研究科教授）

パネルディスカッション

「MOT改革に関する6つの事例とMOTシンジケート活動」―地域愛と改革人材の育成―

・パネラー

○地域改革モデル

武元 文平（七尾市長）

小川 幸彦（七尾市経済再生プロジェクト推進室次長）

○ＭＯＴシンジケート改革モデル

砂崎 友宏（株式会社朝日電機製作所電子設計部主幹技師）

○企業改革モデル

多河 吉泰（株式会社PFUイメージプロダクト事業部第2技術部プロダクトマネージャー）

村松 鋭一（澁谷工業株式会社電子・情報システム技術部主管技師）

高村 昌克（小松電子株式会社環境部部長代理）

○医療福祉モデル

仲井 培雄（医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院 理事長）

・コーディネータ / 近藤 修司

ポスター

ご挨拶

潮田資勝　（本学 学長）

杉本勇壽　（石川県副知事）

御園慎一郎（本学 客員教授 / 厚生労働省大臣官房 審議官）

【午後の部「地域再生システム論の総括と展望」】

地域再生システム論　－これからの展望－

木村 俊昭（内閣府地域再生事業推進室 企画官）

地・学連携での地域再生への取り組み〈Ⅰ〉　－加賀市の事例－

民谷 栄一（北陸先端科学技術大学院大学　マテリアルサイエンス研究科教授）

山本 和義（北陸先端科学技術大学院大学　先端科学技術研究調査センター長・教授）

地・学連携での地域再生への取り組み〈Ⅱ〉　－能美市の事例－

梅本 勝博（北陸先端科学技術大学院大学　知識科学研究科教授）

小林 俊哉（北陸先端科学技術大学院大学　科学技術開発戦略センター准教授）

地域再生システム論　－まとめ－

中森 義輝（本学 知識科学研究科）

所属・肩書きは、開催当時

● 能美市・加賀市学官連携協定事業

◇平成18年度

《能美市》

課題名
モバイルリテラシー教員研修プログラム
里山の地域資源を活かした学生ベンチャーの育成
市民を守る「安全・安心システム」の構築
閉じこもり型高齢者のための外出支援システムの構築
市内各医療機関連携による医療・健康づくり体制の構築
認知症高齢者の増加を防ぐための環境システムの構築
環境にやさしいバイオなどの新エネルギーの開発

《加賀市》

課題名
「日本一の図書館づくり」ワーキンググループへの参加
「第１次加賀市総合計画」の策定支援
地域再生計画の策定支援
バイオマスタウン認定申請書の作成支援

◇平成19年度

《能美市》

課題名
里山資源・文化財・生態系マップ作成
家庭教育委員並びに児童のためのモバイルリテラシー研修会
能美市民のためのサイエンスカフェ

《加賀市》

課題名
加賀市立図書館振興策策定と政策提言

● 地域再生人材育成プロジェクト

七尾市との連携「のと・七尾人間塾」（平成17～19年度）　近藤修司 教授〔のと・七尾人間委員会委員・講師〕
受講者：約20名（各年度）

平成18年度の以上の取り組み等によって、文部科学省 平成19年度科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」に知識科学研究科の『石川伝統工芸イノベータ養成ユニット』が採択された（採択率 16.0%）。

● 発表論文

碇谷 勝，山本和義，小林俊哉：「北陸先端科学技術大学院大学における学官連携協定の現状と展望」，研究・技術計画学会第21回年次研究大会講演要旨集Ⅰ，pp.499-502，2006.

Kayano Chihara, Yoshiteru Nakamori. Knowledge Coordinators for Social Innovation. Knowledge and System Sciences2006, Proceedings of KSS'2006, 288-295.

Kayano Chihara, Yoshiteru Nakamori. Exploring the Role of Knowledge Coordinators in Regional Reactivation Projects. The 51st Annual Meeting of the International Society for the System Sciences, 2007.

Kayano Chihara, Yoshiteru Nakamori. Exploring Skills and Qualities of Knowledge Coordinators in Regional Reactivation Projects. Knowledge and Systems Sciences2007, Proceedings of KSS'2007, 212-217.

緒方三郎，小林俊哉：「大学と社会イノベーション」，知識創造場論集 第4巻 第5号，pp.1-8，2008.

立瀬剛志，小林俊哉：「社会イノベーションへの大学組織研究連携戦略」，知識創造場論集 第4巻 第5号，pp.38-44，2008.

■ 研究メンバー■

民谷 栄一　（マテリアルサイエンス研究科 客員教授）
中森 義輝　（知識科学研究科長・教授）
小林 俊哉　（科学技術開発戦略センター 准教授）
山本 和義　（先端科学技術研究調査センター長・教授）
碇谷 勝　（ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 研究員）
岩崎 敬　（統合科学技術コース 非常勤講師）
末永 聡　（知識科学研究科 助教）
千原 かや乃　（知識科学研究科 博士後期課程 DC）
SONG,Haigang　（知識科学研究科 博士後期課程 RA） 2007年9月まで